

EGZOTech社でのリハビリロボット 実機によるトレーニング参加のご報告

松屋アールアンドディは、ポーランドに本社を構えるEGZOTech社と、EMG（筋電図信号）を最先端技術を使って、運動麻痺患者のリハビリ治療を行うロボットシステム,LunaEMGの総代理店契約を結びましたが、この度、当社の社員が現地での実機トレーニングに参加してまいりましたので、ご報告いたします。

LunaEMGは、これまでのリハビリ治療では効果がでていなかった患者にも大きな効果を欧州であげており、その技術はForbesにもヨーロッパのベスト30紹介されております。

[30 Under 30 Europe List For Science And Healthcare: Drones, Robots, Optics And Organoids We're Looking For \(forbes.com\)](https://forbes.com)

この度、当社の社員がEGZOTech本社にて4日間に渡る実機トレーニングを受けてまいりましたが、初めてでも非常に理解しやすく、使いやすいとの報告がきております（写真添付参照）。脳梗塞などで麻痺している部分に電極パッドをとりつけて、脳からの運動指示信号を検知し、患者の動作をロボットが自動的に支援するシステムですが、患者自身も画面を見ながら、回復レベルもモニターできるだけでなく、ゲーム的要素も取り入れて楽しくリハビリができるようになっています。これまでEMGの原理を使ったロボットスーツがリハビリにも利用されていますが、LunaEMGはリハビリを目的としたサポートツールの豊富さ、レポート機能の充実さが、欧州では非常に高い評価を受けております。

当社では、すでに年内に国内初の販売に向けて準備をしており、これまで困難と言われていました脳梗塞のリハビリに画期的な効果をもたらすことができると期待しております。

問い合わせ先 メールアドレス：contact@matsuyard.co.jp



EGZOTech社の、Michael Mikulski社長と
松屋アールアンドディの山平GM